

研究に関する情報公開

福島県立医科大学小児科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2022年2月 福島県立医科大学医学部小児科学講座 細矢 光亮

【研究課題名】

極低出生体重児のNICU入院時血中マグネシウム濃度と動脈管開存症に関する研究

【研究期間】

2022年2月～2026年3月

【研究の意義・目的】

動脈管は大動脈と肺動脈の間に2-3mm開いており、通常は生後数日で閉鎖します。しかし、早産児の場合、動脈管が開いたままとなり、心臓をはじめ全身の臓器に影響が出て内科的・外科的治療が必要になる場合があります。マグネシウム（以下Mg）は、母体の子宮収縮抑制に適している薬ですが、母体から児に移行したMgには動脈管を閉じにくくする作用もあるとされます。Mgと早産児脈管開存症の関連が小規模の患者数で報告されています。我々は、極低出生体重児（1500g未満で出生された児）のNICU入院時に血液中のMg濃度を測定しており、そのMg血中濃度と動脈管開存症、合併症の関連をこれまでの報告よりも多くの人数で調査することを目的としています。

【研究の対象となる方】

2010年1月から2023年3月に本学附属病院のNICU（新生児集中治療室）に入院した極低出生体重児及び児の母を対象とします。

【研究の方法】

上記対象者の以下の試料・情報をカルテから収集し、解析します。

- ・ 試料・情報の種類：母のMg血中濃度、入院時血液検査結果、超音波検査結果、合併症（脳室内出血、慢性肺疾患、壊死性腸炎など）、生後3歳までの身体発育データ。
- ・ 試料・情報の利用方法：動脈管開存症と血液検査データ、合併症を統計学的手法を用いて解析します。

【研究組織】

研究責任者	（所属）小児科学講座	（氏名）細矢光亮
研究分担者	（所属）総合周産期母子医療センター	（氏名）小笠原啓
研究分担者	（所属）総合周産期母子医療センター	（氏名）佐藤真紀
研究分担者	（所属）総合周産期母子医療センター	（氏名）郷勇人
研究分担者	（所属）総合周産期母子医療センター	（氏名）金井祐二
研究分担者	（所属）総合周産期母子医療センター	（氏名）知識美奈
研究分担者	（所属）総合周産期母子医療センター	（氏名）市川弘隆
研究分担者	（所属）総合周産期母子医療センター	（氏名）蛭田俊

【他の機関等への試料等の提供について】

なし

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部小児科学講座 担当 小笠原 啓

電話:024-547-1111

E-mail:catsuwo@fmu.ac.jp、FAX:024-548-2177

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部小児科学講座 担当 小笠原 啓

電話:024-547-1111

E-mail:catsuwo@fmu.ac.jp、FAX:024-548-2177